企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び当行コメント
日本エコシステム㈱	ジオ環境開発研究所における大学との連携により新たな商品の研究開発を実施（実績開示）	JESG事業開発研究室を新たに設立。 大学との連携を継続実施。新商品の開発を現在実施中。
	太陽光発電設備について毎年1,000ｋｗh以上の新規工事実施（実績開示）	2022年9月期2,807.Kwh。達成。
	交通インフラ事業の売上高を毎年20億円以上に維持する（実績開示）	2022年9月期25.3億円。達成
	従業員の健康診断における再受診率の向上及び、年間休日の増加（実績開示）	再受診率90％、有給休暇取得率47.4％（前年比6.2％増）。再受診率は100％を目標、有給休暇は引き続き増加を目指す。
	岐阜県ソフトボール協会及び日本エコシステム男子・女子ソフトボールチームのスポンサー維持（実績開示）	スポンサー継続。達成。
	ISO27001の更新（実績開示）	更新済。達成。
	年に1回以上、一宮市と連携し公営事業に関わる依存症対策及び支援を実施（実績開示）	関連のサテライト一宮㈱（サテライト運営会社）から一宮市小学校へ寄贈。一宮市との連携は達成、依存症対策支援の具体策を考案中。
	ISO14001の更新（実績開示）	更新済。達成。
	2022年2月時点での森林保有面積の維持及び間伐実施による森林環境維持（内容報告）	保有面積不変 1,079,926㎡。達成。
	2027年2月までに全社用車の電気自動車（ハイブリッド車含む）化（実績開示）	社用車（営業車）の電気自動車（ハイブリッド車含む）化率100％。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
㈱鳥越樹脂工業	2029年決算期までにポータブルチェアを国内自治体と連携し普及させる（取組開示）	御園座、愛知芸術文化センター、エスコンフィールドなどに設置、製造分500台の完売進捗確認。追加の製造も決定しており、ポータブルチェアのさらなる拡販に努める。
	毎年の健康グッズ商品開発数を3品以上に維持する（実績開示）	健康グッズ5品の販売に加え、スタンディングチェアを開発中達成。営業におけるスタンディングチェアの手ごたえ良く今後の展開を期待。
	2029年度決算期までに技術者のノウハウを若手世代と共有し商品開発・企画立案において連携する体制を定着させる（取組開示）	新入社員2名をデザイン、設計部に着任させ、技術者との商品開発を開始。経緯確認。更に商品開発の部署とも連携させる予定。
	・2029年度決算期までの毎年において、有給取得率を2021年度決算期対比15％増加させる（実績開示）	数値確認中。最低4日の有給取得は維持。加えて誕生日月の特別休暇を設定。経過確認。データ化し、数値比較できるよう対応。
	・性別・年齢・障がいの有無に捉われない役職員の登用、管理職への任命を実施（実績開示）	現状男女割合は男55：女45。管理職は現状全て男性。ポスト作りを思考中。次年度以降も男女比率及び管理職を確認予定。
	ソフトボールチームへの継続的支援（指導・コーチング・イベント開催等）を実施、日本ソフトボール協会所属の「シトリン一宮」へのスポンサー支援（取組開示）	支援継続。現状、選手20名中、15名が当社従業員。達成
	中学校・高校からの工場見学や企業紹介を実施、大学への講義を通じ、若い世代に対するものづくりへの興味を発掘する（取組開示）	5月愛知工業大学、12月岐阜淑徳大学にて講演。達成
	工場・本社の消費電力におけるCO2フリー電源の割合を2029年決算期までに全体の消費量の20％以上にする（実績開示）	千秋工場にて太陽光設備設置（31百万円規模）。来年度以降、自社消費にて現状の電気消費量が減少する予定。来年度の実績確認し、目標上方修正も視野。
	取得済ＩＳＯ14001認証の更新・維持（実績開示）	継続。達成
	粉末素材、廃資材等を再利用した商品を毎年1品以上開発する	もみがらを使った樹脂素材を開発。達成

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
藤間工業㈱	BCP対策の強化のため事業継続力強化計画の作成する	2023年8月3日策定済。達成
	引渡し後の不良率を年間0.1％以下にまで低減させる	0.0％（0件）。達成
	女性技術職を毎年1名以上採用し、2027年までに全体の10％以上の割合とする	1名採用。全体割合5.6％。採用人数のKPIは達成。女性従業員の離職なく、1名以上の採用が続けば全体割合のKPIも達成水準。
	2027年までに従業員の年間平均休日を125日以上を達成する	120日を達成。前年度の115日から5日増加。KPI達成水準にて推移。
	2027年までに介護休暇および出産・育児休暇について、累計取得者を5名とする	3名が取得。前年度1名から2名増加。KPI達成水準にて推移。
	年間労働災害件数ゼロを維持する	1件発生。未達成。原因究明済であり、今後改善見込み。
	2027年までに残業時間を15％削減する	2021年度比4.8％削減。KPI達成水準にて推移。

	環境負荷の少ない高効率機器への取換工事件数を年間10件以上行う	10件実施。達成
	エコ・省エネ設備の提案数を把握し、年間10%以上増加させる	提案件数算定中。
	2027年までに社用車を順次ハイブリッド車へ入れ替え、全体の20%以上とする	現状全体の10%がハイブリッド車へ入替。KPI達成水準にて推移。
	2027年までに電力使用量を視える化するシステムを導入し、使用量を10%削減する	2021年度より電力使用量が7%増加。コロナ禍が終わり、事務所の使用頻度増加。継続的な従業員への啓発を続け、削減を図る方針。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
㈲佐藤木型製作所	BCP対策の強化のため事業継続力強化計画の作成する	現在作成中。現状未達成も作成作業進めている。
	工場レイアウトの見直しや機械化を進め、従業員1人当たりの売上高を向上させる	従業員一人当たり売上高15.0百万円→13.3百万円に減少。従業員数4名増加となるも、相応の売上に貢献するにはもう少し育成を要する状況。効率化としては順次進めている。
	多能工化を進め、当社の認定技能を3項目以上取得した技術者を現状8名から12名にまで増員させる	該当者10名にまで増加。KPI達成水準にて推移。
	不良率を0.01%以下まで削減する	全案件2274件中2件に対して不良発生。不良率0.08%。未達成。原因究明済であり、今後改善見込み。
	社内教育ロードマップを策定する	現在作成中。現状未達成も作成作業進めている。
	現状2割の女性従業員の割合を増加する	女性従業員8名在籍。全体割合19.0%。KPI達成水準にて推移。
	新卒者3名の継続的な採用を維持する	新卒者の採用はないが、中途にて3名を採用。KPI未達も、雇用のインパクトに対する貢献は認められる。
	従業員の健康診断における再受診率を現状26%から100%まで向上させる	該当者の再受診率30%。微増にて推移もKPI達成水準とは言えない。今後も継続的な啓発によりKPI達成を目指す方針。
	年間休日115日以上設定し、7日以上の有給休暇取得を促す	24名の社員がKPI達成。全社員の57.1%がKPI達成。100%を目指して継続して積極的に取組んでいく。
	年間労働災害件数ゼロとする	0件。達成。
	ダイオキシン排出抑制機能を有する廃棄物処理設備を導入する	2022年10月導入。達成。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
協立運輸㈱	生産性を向上させ、従業員一人当たりの売上高を3%増加させる	従業員一人当たり売上高は2021年度20.0百万円→2022年度21.7百万円に増加。8.5%増加。達成。
	全営業所の顧客状況管理するためのシステムを導入し、輸送における効率性を高める	システム管理による輸送実施済。従業員一人当たりの売上高増加しており、効率性は高まっている。
	雇用戦略を整え、高校・大学からの新卒採用数1名以上/年間を維持する	2022年度　2名採用。達成。
	従業員一人当たりの月間平均残業時間を10%削減する	2021年度　112時間、2022年度　85.6時間。23.6%削減。達成。
	従業員の健康診断再受診率を80%以上にする	再受診率94.3%。達成。
	ドライバーの安全確保のために、車輌横の視界補助カメラおよび割込み検知ブザーを全車両に設置する	全車両に装着済み。達成。
	ガソリン、電気、ガスの使用におけるCO2排出量を算定し、毎年2.0%ずつ低減させる	ハイブリッド車5台保有。2024年度よりCO2排出量を算定開始予定。来年度より算定開始予定。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
㈲ヤシマ	2027年度決算までに清掃・消臭サービス事業の年間売上高を2.5億円以上にする	2023年2月期決算では約1.5億円。その後年間25%程度増加見込み。KPI達成水準にて推移。
	2027年度決算までに清掃・消臭サービス事業の年間取引顧客数を30以上にする	23先。（+5先）KPI達成水準にて推移。2027年度までの30顧客は十分達成の見込み有り。
	ヤシマホビーによるコース場の提供を継続する	継続中。現在達成済。
	定期的な大会開催やイベント開催により地域社会とコミュニティの活性化を図る	月一回イベントを開催。現在達成済。※毎月HP、ブログにて案内実施中
	2027年度決算期までに社用車を順次電動車両（ハイブリッド含む）に切り替える	社用車9台中0台2024年度中に1台導入見込み。今後順次入れ替え実施予定。
	無害な電解水による清掃実績を2027年度決算期までに2022年度対比で2倍にする	2022年度対比で1.5倍。KPI達成水準にて推移。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
	製造、加工する自動車部品のうち、ハイブリッド、EV車の部品が全体に占める割合を20%以上にする（実績開示）	年間総売上は約30%増。ハイブリッド、EV車のコンピュータの基盤を保護するケース、カバー増加が大きく寄与。全体に占める割合の集計について、仕組みを現在構築中。今期以降、先期含め提示予定。

久野金属工業㈱	自社及び関連会社で開発するIoT GO、IoT GO DXシステムを随時バージョンアップを図りながら販売数を増加させる（実績開示）	毎月バーチャル工場見学会を開催して10人から20人程度の集客がある。その中から1から2社の申込みがあり、現在はのべ50社ほどの販売があった。50社から来年以降の増加数を計測予定。
	従業員1人あたり年2回の業務改善策提出を目標とし、施策に対しインセンティブを与える（取組開示）	2023年1月～12月、年間320件提出。AA賞から提案賞までのインセンティブで年間493,000円引き続きインセンティブ付与を想定。
	社内親睦会からの要求について施策を前向きに検討し、随時取入れる（取組開示）	役職手当UP。半日休暇4回から6回へ拡大。有松工場他全工場に冷食設置。親睦会要求に随時対応を確認。
	2027年度決算期までに男女ともに育児休暇取得率を2021年度以降50％以上とする（実績開示）	2021年度対象者4名内3名取得。2022年度対象者3名、内1名取得。2022年法改正により取得が困難となる。2021年度75％、2022年度33％と減少。次年度以降向上に努める。
	地域イベントの協賛や地域活動に積極的に賛同する（取組開示）	常滑焼まつりへ協賛5万円。地域イベントの参加、協賛（常滑焼まつりは増額）を引き続き積極的に推進。
	地元中学校において、ものづくりの授業を実施、工場見学や企業紹介を随時実施し、ものづくりへの興味を発掘する（取組開示）	ものづくり授業の依頼はなかった。工場見学も希望はあるが今年度はコロナの影響も残っており未実施。今年度以降、コロナ明けを想定し、積極的に教育機関との連携を図る想定。
	2027年決算期までに順次、社用営業車を電動車（ハイブリッド含む）へ切り替える（実績開示）	2023年11月1台HV発注。2024年3月納車予定。引き続き、順次切り替え。
	2027年決算期までにCO2排出量を2021年決算期と比較して25.2％削減する（年間4.2％削減目標）（実績開示）	2021年度CO2排出量0.31ｔ/売上百万当り。2022年度CO2排出量0.28ｔ/売上百万当り。排出量の総量を依頼中。
	ISO14001の継続更新（実績開示）	2023年6月定期審査更新済み次回も引き続き更新予定。
	新工場において、LED化、導入設備の省エネ化を実施しカーボンニュートラルへ対応する（取組開示）	豊明新工場の照明類はほぼすべてＬＥＤを導入しカーボンニュートラルに対応新工場のLED化完了。省エネ設備導入による見える化を検証。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
藤久運輸倉庫㈱	2027年決算期までに販売物流案件の年間売上高を50億円以上にする（取組開示）	2022年12月期41億円、2023年12月期45億円（見込）。順調に推移。必要に応じて、達成時に目標上方修正。
	調達物流案件の年間受注を毎年百万円以上にする（実績開示）	2022年１２月期10百万円の受注あり。継続して調達物流サービスを展開する予定。
	・2027年度決算期までに育児休暇取得率を100％にする（実績開示）	2022年12月期は100％。2023年12月期は今のところ対象者なし。達成
	・2027年度決算期までに健康経営優良社員の割合を35％まで引き上げる（実績開示）	2022年12月期18.7％。2021年12月期より減少推移。インセンティブ、ウォーキングキャンペーン実施し、35％達成を目指す。
	・改善提案制度による従業員からの提案について、年間100件以上実施する（取組開示）	2022年12月期300件超。達成。係長以下には毎月の提出目標を設定し、件数維持。
	・月一回の地域清掃を継続し、参加率向上を目指す（取組開示）	毎月の清掃活動実施。参加人数横ばい（10人）。現状維持。今後増加の施策を講じる。
	・幼児園児のイラスト入りラッピングトラック等、安全教育の啓蒙活動を続ける（取組開示）	4月12日他複数日で、交通安全広報車を派遣。達成
	・自治体等との連携を深め、寄贈、人的支援により地域活性化へ貢献する（取組開示）	2月22日刈谷市児童発達支援センターへ体重計を寄贈。達成
	・2027年決算期までにマイカー、社用車1台あたりのCO2排出量を1ｔCO2未満にする（実績開示）	2022年12月期は横ばい推移。1ｔ未満の目標達成へ向け社員へ意識づけを実施
	・取得済ＩＳＯ14001認証の更新・維持（実績開示）	認証取得済。達成
	・2027年決算期までの5年間で当社CO2排出量を2018年対比で20％削減する（実績開示）	算定中。引き続き削減の取組を実施。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
	自社の売上全体に占める浴場施設関連の割合を2027年決算期までに70％にする	2023年決算期基準で浴場施設関連売上66％KPI達成水準にて推移
	年1回、ボウリング場における高齢者向けの大会やイベントを実施する	実施済（直近では2023年11月19日開催）達成
	2027年度決算期までに男女ともに育児休暇取得率を100％にする	2023年決算期基準で取得率100％達成
	女性従業員割合を現状の60％を維持する	2023年決算期基準で60％維持達成

オークランド観光開発㈱	大学との連携や地元企業との連携を引続き企画、実行し、地域密着型の健康施設を目指す	地元企業との連携随時実施（直近では2023年11月に豊田合成（株）とのコラボ）達成
	災害時物資援助協定、一時避難場所協定の締結、協定を維持する	神奈川県中白根町他市町村との協定維持（2024年には千葉県流山市とも締結予定）達成
	ギャンブル依存症対策・支援として基金への寄付や支援活動への積極的な参加をする	実施済達成
	2027年9月期決算までに配送車両、営業車両のEV化（ハイブリッド車含む）を進める	随時EV化（ハイブリッド車）実施中KPI達成水準にて推移
	店舗事務所の随時LED照明への切替、新規設備のLED照明導入を実施	施設リニューアル毎にLED化への切替実施（直近では2023年12月竜泉寺の湯八王子みなみ野店リニューアル）KPI達成水準にて推移

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
㈱WeeAre（旧社名：㈱アクセス）	従業員一人当たり売上高を10%向上させる	2023年4月期において売上高21.8%増加するも、グループ統合させたため期中に従業員数85名⇒170名にまで増加、期末従業員数で見ると減少。計画通りに事業規模拡大中。従業員増員による売上高向上は来期以降に反映されていく予定。
	引渡し後の不良率を年間2.0%以下にまで低減させる	納品後に顧客より差戻しとなる不良件数0件。0%達成。達成。
	経費ロスについてリスト作成し、人件費除く販管費を年間10%低減する	各部にて経費管理の厳格化を進めており、削減とはならずも売上増加に対して固定費は10%増に留める。事業規模拡大させつつ、今後さらに経費ロスに対する管理を進めていく方針。
	コンプライアンスマニュアルを作成し、社内管理を厳格化する	コンプライアンス課を創設し、マニュアル作成を進めている。計画通りに進捗。今期中には作成し、体制を整備する。
	事務効率化・コスト削減を行うために、電子契約書率100%を達成する	10月に電子契約書に切り替え。現状は100%達成。達成。
	全従業員に対する女性従業員割合40%以上を維持する	現在の女性従業員割合は37%。計画通りに推移。今期達成予定。
	雇用戦略を整え、新規採用数を20名以上/年間とする	新卒35名、中途48名採用。達成。
	作業効率化となる体制を構築し、月間平均残業時間を15時間以下に抑える	月間平均残業時間30時間。グループ企業の統合により繁忙期が長引いていた。順次業務効率化に繋がる施策は実施しており抑制に努めている。受注増に対する人員増が追い付いていなかったが、適正な人材配置を適宜実施し残業時間削減を進めていく方針。
	介護休暇および出産・育児休暇について、対象者の取得率100%を達成する	現在の取得者数3名、今後の取得予定者2名。女性対象者に対しては100%を達成。女性の休暇取得に対する理解は浸透しているが、男性取得者数は0名。今後は男性の取得者も増やすために全社員に推奨予定。
	2027年までに電力使用量を視える化するシステムを導入し、使用量を2022年度対比10%削減する	本社移転したため今年度より集計を開始。今年度の集計結果を確認し、今後の施策を決めていく。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
	心肺停止後の救命基礎であるBLS分野において、職務に応じた目標設定及び教育を実施する	年2回、全職員参加型の研修を実施し今後も継続予定。達成。
	グループ全体でIBA国際ボディガード認定取得者を増加させる	AICPO国際ボディガード協会へと体制移行したため、同協会の認証取得とする。 ・ベーシックコース：2025年8月に1名、12月に少なくとも5名、計6名が2025年内に修了予定 ・アドバンスコース：2025年8月に1名、12月に少なくとも5名、計6名が2025年内に修了予定 ・マスターコース：本年は開催なし
	ビジネスマナー・ハラスメント・人権等の法定警備員教育以外の内容に関する教育を実施する	AED操作に関する教育等、サービス品質向上に資する訓練実施。達成。訓練の種類は今後とも増やしていく方針。
	グループ統一のキャリアラダーを設定・活用し、その実現に向けた評価・教育制度を整備する	人事評価に関する制度を作成中。未達成も順次作成作業を進めている。
	初任者研修及びe-learningの拡充により、AED販売担当者への講習受講率100%を達成するとともに、AED導入先へのトレーニング実施率95%以上を達成する	AED販売担当者への講習受講率100%（新規4名受講）も、現任へのe-larningは教材作成中のため未実施。導入先へのトレーニングはAED納入33台中、26先（78.8%）にて実施。新規先の受講100%達成。既往先に対してはカリキュラム整備が完了次第、随時行っていく予定。導入先へのトレーニングも今後とも増加させていく予定。
	東海警備保障にて事業継続マネジメントシステム（BCMS）に関する国際規格ISO22301認証を取得する	認証取得に向けて申請準備中。未達成。

東警㈱	東海警備保障及びトーネットシステムにて国際規格ISO27001認証を取得する	認証取得に向けて申請準備中。未達成。
	グループ全体で女性管理職を3名以上とする	2024.6月に1名就任予定。今後順次増加させていく予定。
	部門や職務毎に女性比率が向上するよう目標値を定め、それを達成・維持する	昨年対比変わらず。目標設定中。数値割合としては昨年同様にて推移。
	「従業員の仕事と介護の両立を支援する」という企業姿勢をトップダウンで提示し、短時間勤務制度等の整備・活用奨励により、育児・介護離職者をゼロとする	企業姿勢の明示は未実施。育児・介護を理由とする離職者は認知している範囲で4名。未達成。
	未就学児を持つ従業員（男女問わず）の月間所定労働時間を減免し、柔軟な働き方を推奨する	未就学児を持つ従業員15名。部門長を中心として随時、ワークライフバランス等の重要性を教育・周知。達成。
	予備自衛官である社員の訓練招集を勤務扱いとする規程を制定し、「予備自衛官等協力事業所」認定を取得する	認証取得に向けて申請準備中。未達成。
	東警にて健康経営優良法人（大規模法人部門）を取得・更新する	認証取得に向けて申請準備中。未達成。
	毎年インフルエンザ予防接種費用を補助する	計画通り取組中。達成。
	受動喫煙防止・禁煙支援に対する取り組みや普及啓発活動を行う	計画通り取組中。喫煙ルームを社外設置に改修。達成。
	アルコール・薬物・ギャンブル等依存症を防止するための研修・勉強会を年1回以上実施する	未実施も今後取組予定、随時実施予定。
	東海警備保障と東警において年間CO2排出量を算定し、年間2.0%ずつ削減する	測定間に合わず未集計。集計を行う担当者は配置済みであり、体制は整備されている。測定不能。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
特定非営利活動法人ライフパートナー	雇用戦略を整え、高校・大学からの新卒採用数5名以上/年間を維持する	2022年度、専門学校卒2名採用。2023年度、大学院卒1名、大学卒2名、専門学校卒2名の5名内定済み。2023年度では達成予定。
	育成ロードマップを作成し、公平で健全な人材教育を行う	現在作成中。未達成も進捗中。
	研修を拡充し、年間7日以上開催する	職員希望者向けに介護職員初任者研修を44日実施。また、中堅職員研修も新規実施。達成。
	従業員の健康診断における再受診率100％を達成する	再受診率計測中。今後保健師と連携して、再受診比率増加予定。モニタリング時期に計測間に合わず。次回以降は円滑な測定となるよう仕組みを構築予定。
	全施設において、年に1度行っている災害対策装備の更新および防災訓練の開催を維持する	全施設にて実施済み。達成。
	虐待防止委員会を設置し、定期的に勉強会を行う	虐待防止委員会設置済みかつ、定期的な委員会・勉強会を開催。達成。
	対象者に対して、育児休業・休暇取得率100％を維持する	対象車6名に対し、取得者6名。達成。
	全体の電気使用量を算出・管理し、具体的行動指針を定め毎年1.0％以上低減する	電気使用量について集計中。モニタリング時期に計測間に合わず。次回以降は円滑な測定となるよう仕組みを構築予定。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
㈱中野工業所	生産性向上により、従業員一人当たりの売上高を3％増加させる	従業員一人当たり売上高は2021年度34.8百万円→2022年度39.5百万円に増加。13.5％増加。達成。
	全営業所の顧客状況管理するためのシステムを導入し、輸送における効率性を高める	システム管理、抱き合わせ輸送を実施済。従業員一人当たりの売上高増加しており、効率性は高まっている。
	全ての営業所で積載効率60％以上を達成し、輸送における効率性を高める	全営業所にて目標数値達成。達成。
	2027年までに全事業所でISO9001、ISO14001を取得、更新する	横浜営業所でも新たに取得。達成。
	知識・技術向上のために、外部研修へ参加する従業員数を5名以上にする	１０名参加。達成。
	新規採用に向けて、雇用戦略・計画を策定する	雇用計画、育成プログラム作成済。５名採用。達成。
	資格取得者数（重複含む）を125名以上にまで増加するよう支援策を整える	2023年１０月時点で１１９名。支援策は検討中。目標達成に向け順調に推移中。
	年間の労働災害件数を0件にする	１件発生。２人作業の指示やＫＹＫの徹底、ヒヤリハット事例集の見直し等の対策済。未達成も要因分析の上、対策済み。
	従業員一人当たりの月間平均残業時間を7.0時間以下にする	2022年度：12.3時間。未達成であるも、今後削減に向けて設備投資を積極的に行い効率化を進めていく方針。
	電気、ガスの使用におけるCO2排出量を算定し、毎年2.0％ずつ低減させる	2021年度 5,337,168。2022年度 5,105,178。単位：kg-CO2。4.3％削減。達成。

	2027年までに現状23台ある営業車の内、5割以上をハイブリッド車に切り替える	ハイブリッド車に切り替え予定も、納期が長く入替が進められていない。納期長期化しているものの、随時納車となれば進捗見込み。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
日本エンジン㈱	エンジン部門の売上を100百万円以上に維持する。	158百万円。実績維持
	鉄道部品の売上を100百万円以上に維持する。	146百万円。実績維持
	ISO9001の継続更新。	継続取得。達成
	愛知県との連携によりサーキュラーエコノミー推進プランを拡大する	あいちサーキュラーエコノミー推進プランプロジェクト参加。リペアリビルド部門において当社の存在感強く、引き続き連携強化。
	健康経営の継続及び従業員の健康診断再受診率を100％に維持する。	100％維持。達成
	人事制度、日報管理によるキャリア形成支援及び働きやすい組織体の構築。	人事制度改定コンサルと締結予定。今年内の制定を目指す
	岐阜フォーミュラーレーシングへのスポンサー継続 。	岐阜フォーミュラーレーシングに加え、愛工大名電のバレーボールチームに資金支援。達成
	商工会議所や地元小中学校と連携した工場見学による教育機会の提供。	今年、工場見学予定。達成予定。
	SBT認証に基づくGHG削減について、社用車のEV化やCO2フリー電源の導入等を進めるとともに、排出量の測定・把握を継続する。	2022年度排出量214.54ｔCO2。社用車のEV化を随時実施。取組継続中

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
㈱フローラ	社内で育成したプログラマーが、当社IT人材のうち50％となるようにする	当社ＩＴ人材15名中10名が社内育成性人材。達成。
	2027年度のIT関連の受注件数を2022年度対比200％にまで増加させる	2022年度10件に対して、現状は横ばい推移中。2024年4月に新たにサブスクサービス開始予定で、受注（契約）件数は増加予定。現状は未達であるも、新サービス開始すれば目標は達成見込み。
	外部研修に年間2回以上行けるよう支援する	随時研修参加を周知・推奨するも、現状では平均参加回数0.8回程度。年間スケジュールを見直し、体制面からも参加しやすいよう整備する方針。
	残業時間ゼロを維持する	特殊事情により従業員2名からの申し出を受け、10時間ほど残業した月があった。特殊事情を除けば、残業ゼロは維持されており、今後とも継続予定。フレックス制の導入や、人材配置の適正化の実施により随時業務の効率化・平準化を行う。
	労働災害件数ゼロを維持する	労働災害件数ゼロ。達成。
	2027年度末までに、送迎車を全て電気自動車またはハイブリッド車へ切り替える	まだ買替時期の到来した車両なく、切替は進んでいない。未達成であるも、買い替え時期に随時切り替えていく方針。
	クックチル・クックフリーズ食品を活用し、フードロス問題への取組みを促進する	クックチル・クックフリーズの導入はできていないが、厨房を新たに設置して自社内にて食事提供を行う体制を整備する。当初ＫＰＩとしては未達も、フードロス対策に繋がる自社内調理体制の整備計画が進行中。今後の動向によっては、ＫＰＩも柔軟に変更を検討。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
㈱保坂工業所	2027年度決算期までに営業推進によりガス屋内配管工事及びその他の設備配管工事の売上高の総売上に占める割合を50％以上にする	50％以上に推移。
	2027年度決算期までに一人当たりの残業時間数を2021年度対比、20％削減する	2021年度：23.23ｈ。2023年度；19.95ｈ。より▲14.1％削減。継続中
	2027年度決算期までに従業員に健康意識の醸成を促し、健康診断の再受診率を向上させる	エコー検査や腫瘍マーカーなどのオプション項目に対しても会社補助分を増加させ、健康意識を高めている。再受診に対しても会社補助を行う。継続中
	2027年度決算期までに男性の育児休暇取得率を100％にする	2022年10月に対象者1名取得。継続中
	FC ＤＲＥＡＭ（少年サッカーチーム）、名古屋ダイヤモンドドルフィンズ（Ｂリーグ）へのスポンサーを継続する	継続中
	地域社会のイベント（志段味区民まつり等）への協賛を実施する	継続中
	月2回の清掃活動を継続実施、交通整理・パトロール活動等の交通安全啓もう活動の実施	継続中
	2027年度決算期までに、デジタル化導入により紙の使用量を現行水準より20％削減する	電子的に回覧や決済が可能なソリューションの導入を行い、紙書類における回覧を廃止しペーパーレス化に取り組む。継続中
	現状の廃棄物分別作業を継続、社員に対しても取組を周知する	イラストや写真付きの分別表を掲示する。継続中
	事業所及び全施設においてLEDの導入	2023年時点で90％達成。継続中

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
㈱BMR	地元で生産された野菜、肉、魚介類を使用したメニューを継続的に導入する	野菜、肉、魚介類は東海地方の市場、港を中心に使用。継続中。
	新規店舗において日本産木材を使用した家具の使用	移転前の家具を継続使用、新規家具についても同様ブランドを使用。継続使用。
	新店舗におけるバリアフリーに対応した設計	スロープを設置。達成。
	翻訳機等の設置により国籍、言語にとらわれない食事空間の提供	スマートフォンにて対応。従業員が中国語、英語に精通。継続中。今後、他の従業員にも語学通学を推奨予定。
	従業員に対しての経営方針の浸透や、若手への教育体制を確立する	代表者考案の就労心得を採用時に配布。継続中。前述の語学教育にも注力。
	新店舗における自家発電等により化石燃料による電力消費の削減を開始	太陽光発電設備はペンディング。3つ星が取れたら設置を想定。費用対効果合わず、取組保留。次回、同様の状態であればKPI削除予定。
	無農薬野菜の導入により土壌への負荷軽減	ほぼすべて無農薬野菜を採用。達成。
	環境に配慮した事業者、生産者と「協働」することによる新たな商品価値の創造	愛ファームと連携。農業と福祉を合わせた「農福」野菜を使用。※障碍者が育てた野菜。また、愛ファームと連携し、愛知県内で高級総菜を販売し、一部を能登地震被災者へ寄付予定。SDGｓ達成へ向けた活動を展開中。
	自社の店舗内においてフードロスを来店客に案内することで業者だけでなく、来店客も含んだパートナーシップを創立する	フードロスや上記の愛ファームの取組を、来店客にメッセージカードとして配布。実施中。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
㈱風岡	生産性向上により、従業員一人当たりの売上高を3%増加させる	別事業に従事していたグループ会社との合併により従業員数が大幅に増加（60名→155名）したことで生産性が低下。目標未達であるも合併という特殊要因あり。営業注力により、来期以降での改善を図る。
	BCP対策の強化のため事業継続力強化計画を策定し実施する	策定、及び認定済み。達成。
	高品質が維持できる体制を維持し、ISO9001を更新する	更新済み。達成。
	危険物取扱者乙種4類の取得者を12名にまで増加させる	新規での取得者なし。未達。引き続き社内勉強会、制度活用による啓発を続けていく予定。
	育児休暇取得率100％を達成する	対象となった男性1名、女性2名が取得中。達成。
	作業開始前の危険予知活動を毎朝継続して行い重大事故発生を防止する	1件発生。禁止事項を徹底的に周知・指導させるとともに、機械事故防止のための柵を設置。
	人と環境にやさしい粉体塗料の積極的な使用を継続する	粉体塗料の使用割合を4割→5割に増加。使用割合は順調に増加。引き続き、増加させていく方針。
	システム導入により請求書業務における100％ペーパーレスを実現する	システム導入済み。全体の7割程度が対応済み。計画通りシステム導入も行い、ペーパーレスを進めている。引き続き割合増加させていく方針。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
rirek	生産性向上により、従業員一人当たりの売上高を3%増加させる	従業員一人当たり売上高、2023/2月期31.6百万円、2024/2月期32.9百万円、2025/2月期30.3百万円の推移。2026/2月期は新工場稼働による修理業務の拡大進み増収計画。
	大型発電機の導入により災害リスクを低減し、サプライチェーン維持に努める	2025/2月期中に6台導入。今後も随時増加させていく方針。
	修理業務に関する受注件数を10％増加させる	売上金額としては10％ほど増加も、受注件数としては38件と微減。2024年4月より新工場稼働により業務幅が拡大予定。件数としても増加となる見込み。
	公共・インフラ関連の受注件数を10％増加させる	今期15件。上述同様。
	新卒・中途関係なく、毎年１名以上の新規採用を行う	2024/2月期は4名、2025/2月期は2名。達成。
	業務関連の工事技士・管理技士等の免許取得者数を10名から13名にまで増加するよう支援策を整える	該当の免許取得者数15名。達成。今後とも自己啓発促進となるよう制度実施していく方針。
	年間の労働災害件数0件を維持する	0件。達成。
	従業員一人当たりの月間平均残業時間を現状の10時間以下を維持する	9.7時間。達成。2024年8月には社員にスマホ貸与し、電話が直通となるよう体制を変更予定。従業員も若返りが進んでおり、業務の効率化に注力。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
㈱エスリンク	2028年までに年間利用者数を150％増加させ、地域社会の新たな雇用創出に貢献する	年間利用者数は42→40名に微減。未達成。今後はマッサージ事業を新たに立ち上げ増加させる計画あり。
	正社員として年間2名以上の新規雇用	正社員3名の新規雇用あり。達成。
	残業時間ゼロを維持する	残業時間ゼロを維持。達成。
	女性の管理職数を4名から6名にまで増員する	4名のまま増員無し。今後新規事業立ち上げ等により増加する予定。
	育児休暇取得率100％の達成	該当者なし。引き続き、希望者が休暇取得しやすい環境を整える。

	2028年までに社用車の全てを電気自動車またはハイブリッド車へ切り替える	4台中1台のみハイブリッド車。他車輌はまだ買替時期が到来しておらず、切替が進んでいない。未達成であるも、買い替え時期に随時切り替えていく方針。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
㈲パール金属	従業員一人当たりの売上高を毎年10%ずつ増加させる	27百万円→20百万円/人と減少。自動車業界再編の影響。未達。新規取引先獲得に注力し、今後受注量を増加させていく
	事業継続力強化のための計画書を作成する	作成中。原案は既にあり。順次作成中。
	所得水準を毎年3%以上引き上げる	昨年比4.56％増加。達成。
	育児休暇取得率100％を維持する	対象者1名に対し、1名休暇取得。達成。
	学卒採用を毎年１名以上行う	本年度1名採用。達成。
	社用車のうち２台を電気自動車またはハイブリッド車に切り替える	それぞれ電気自動車と水素自動車に買替え済み。達成。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
㈲久米商店	生産性向上により、従業員一人当たりの取扱量を10％増加させる	役員除く従業員数は24名→23名に減員するも取扱量は横ばいを維持。従業員一人当たりの取扱量としては4.3%増。取扱量は計画通り増加。重量分野と鋳物分野が堅調推移したことと、従業員能力が育成されたことが要因。
	女性、外国人を中心に年間1名以上採用する	男性1名、女性1名の計2名採用。達成。実習生も機会があれば受入検討可であり、引き続き柔軟な採用を行っていく方針。
	社内研修、OJTについて明文化し、制度の充実を図る	進捗なし。機会見て適宜規定やマニュアル作成を進めていく。
	エコアクション２１で公表している環境負荷低減活動の実効性を高め、全項目での目標を達成する	半分程度の項目で達成。新設備導入したことで絶対値が増加したことが要因。引き続き目標設定し、達成に向けて尽力していく方針。機会見て太陽光発電設備等の取組み予定。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
㈱ケンシン	施工件数を積み上げ、売上高2,500百万円を達成する	関西方面における受注増加の影響により2024.3月期は売上高2,200百万円ペースにて推移中。当初計画以上のペースで売上高堅調に推移。
	新卒者を年間2名以上採用する	新卒者は今期採用には至らず。業者を来期より変更し、ＫＰＩ達成を目指す予定。（中途人材は3名採用）今期未達成となるも、来期達成するための施策は実行済み。
	幅広い知識の習得を促進するため、現状の資格取得支援の対象資格を拡大する	新たに始める事業の関係もあり、宅建士や施工管理士資格の取得を推進中。今まで推進していなかった資格取得についても支援拡大。今後とも引き続き拡大させていく予定。
	残業時間を10時間/月 以内を維持する	年間平均残業時間は10時間以内であるも、今後売上高増加に伴い、残業増加する懸念はあり。達成。今後の増加懸念については工事期間管理の厳正化に加え、元請業の開始、システム化により順次対応していく方針。
	管理部署を設置し資材管理の厳格化と情報共有を進め、資材の二次利用を促進する	先任者を置き、適切な管理、活用が為されている。達成。
	社用車の半分をハイブリッド車に切り替える	18台中6台がＨＶ車へ切替済。買替時期に合わせ、随時ＨＶ車への切替実施中。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
ホームポジション㈱	静岡市内での分譲住宅着工棟数シェア20%以上を維持する	シェア確認。HPにて資料確認、ヒアリング。2024年3月（2023年4月～2024年3月）ではシェア19.49%。なお、当該データは住宅産業研究所が発行する着工棟数ランキングを基にシェアの割合を確認。関東エリアの事業拡大に取り組んでいるため、HPへの着工棟数ランキングの掲載は取りやめており、社内データとしてのみ活用。
	・複数の区画からなる分譲地を、一つの街並みとしてトータルデザインしたデザイン性の高い住宅を提供する。（取組開示）	販売実績確認。HPにて資料確認、ヒアリング。HP施工ギャラリーにて公開中。
	・動画配信サイトの活用により、より多くの範囲に有益な情報発信を継続する（実績開示）	動画確認。動画配信サイトにて頻度・内容確認、ヒアリング。X、Instagram、YouTube、LINE、各種サイトにてオープンハウス情報、値引き情報等を発信
	・自社サイトの住宅購入者インタビュー掲載を継続し、よりよいデザイン開発に活用（取組開示）	掲載確認。インタビューの担当スタッフ不在のため、現在は更新無し。仲介業者や自販営業スタッフからヒアリングした結果を間取プランやデザイン開発に落とし込み。
	・自社組織においてサステナビリティ委員会を設置し、組織規程に織り込む（取組開示）	組織規程確認。委員会の内容ヒアリング。規定織り込み予定。
	・業務改善制度を半期に1回以上実施し、従業員の参画意識向上に努める（実績開示）	実施頻度確認。内容ヒアリング。全社の方向性は“業績回復”に向かっているため、2023年夏に実施した業務改善を最後に当該制度は一旦中断
	・資格取得に関する支援制度を確立させ、従業員のキャリア形成支援を実施する（実績開示）	2024年に宅建資格奨励キャンペーンを実施し、合格者に登録費用の負担と奨励金を支給。（2024年11月：6名合格）

	・融資期間中に2022年度決算時点の一級建築士、二級建築士および宅地建物取引士の取得人数を15人増加させる（実績開示）	人数確認。毎年の一級、二級の人数ヒアリング。2024年8月末時点の各人数は以下の通り。一級建築士：8名。二級建築士：15名。宅地建物取引士：44名
	・確定拠出年金制度を導入し、従業員の資産形成の支援を図る（実績開示）	進捗確認。制度導入状況ヒアリング。確定拠出年金制度導入済。（2023年４月～）
	・全従業員を対象とした「各種コンプライアンス研修」による健全で透明性の高い人材の育成を行う（取組開示）	取組確認。実施状況ヒアリング。コンプライアンス研修・ハラスメント研修を実施。実施状況をコンプライアンス委員会にて報告
	・各公共機関・団体等へ定期的な寄付・寄贈を実施する（取組開示）	寄附実績確認。実績ヒアリング。名古屋市立井戸田小学校に寄贈。HPに掲載
	・TCFD提言への賛同を表明する為の社内整備を整える（取組開示）	進捗確認。表明準備状況、社内整備状況をヒアリング。素案作成済み。（社内承認・外部承認なし）
	・紙媒体削減の為、DX化を導入する、また紙の消費量を2027年度決算までに20%削減する（取組開示）	紙の消費量確認。昨年度の実績ヒアリング。2023年6月より、社内申請書類のワークフロー化を導入。（稟議書、押印申請書等）また、社内に紙の削減について周知を行い、紙媒体の削減に努めている。
	・CO2排出量（Scope1、2）算定を毎年実施し、2030年の目標を決定、削減に取り組む（取組開示）	毎年の排出量確認。データ取入、当部にて精査。160.58 t-CO2（2023.9-2024.8）。社内・外部承認なし。Scope2：自社で他社から供給された電気、熱、蒸気を使用した事による間接排出。※Scope2には、下記の数値が含まれておりません。引き渡し前建物の一時的な電気契約におけるGHG排出量。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
㈱東和キャスト	営業社員の売上高2,400万円/月の達成	営業社員10名。1名当たりの売上高14.7百万円。事業は予定通りに拡大中であり、今後とも特に人材育成注力により増加させていく計画。
	災害マニュアルを作成し不測の事態にも迅速に対応できる体制を整える	未作成であるも、基本的な取り決め等はあり。今後具体的なものを作成していく予定。
	2028年までに正社員・派遣社員を合わせて750名まで増加させる	現状グループ合算で500名程度にまで増加。順調に推移。
	現状の人事評価・報酬体系を改善し、今以上の組織活性化・士気向上を目指す	従業員の増加に伴い、管理職者を増やしていく計画。評価・報酬制度も順次改善。制度は常に改善され、ベースアップ等も適宜行われている。
	ペーパーレス化を促進し、環境負荷低減および生産効率の向上を図る	システム導入により請求書は概ねペーパレスとなっている。計画通りのペーパーレス化を実現。請求書以外の部分でも、今後は進捗させていく方針。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
㈱カネックス	物損のみも含めた年間の事故件数を５件以下にする	2022年度は4件発生。定期的な勉強会に加え、事故後の情報共有も為されており再発防止策を講じている。
	2027年度までに 円滑な知識・技術承継がなされ若手の成長を促進させるための育成ロードマップを作成する	未作成。今後、他社事例も参考にしつつ作成予定。
	安全講習以外における具体的作業事例や対人コミュニケーションなどに関する社内勉強会を年４回開催する	随時開催。外部セミナーにも積極的に参加。今後は営業・対人コミュニケーションに係る勉強会も開催予定。
	2027年度までに従業員一人当たりの売上高を2022年度対比10%増加させる	期末時点での従業員一人当たり売上高は12百万円（2021年度）⇒12.5百万円（2022年度）と増加。従業員数が減少しつつも、売上高を微減に留め、単価引上げに成功。順調に推移。
	2027年度までに廃棄物収集運搬業における売上高を2022年度対比10%増加させる	同分野における売上高減少。他社への依頼や内製化によるものと推察。廃棄物そのものは適正処理が為されており、当社としては積極的に獲得しにいく仕事でもない。現状に合わせて、今後ＫＰＩ変更も視野。
	年間の燃油使用料を10%削減する	2021年度対比、年間で11.2%減少。アイドリングストップの推奨と、車両を随時エコ仕様車に入替実施により達成。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
㈱安震	当社商材を普及させ売上高20%増を達成することで、日本企業のBCP対策を促進する	2022年度対比、2023年度は売上高減少。未達となるもAmazonでの取扱開始や、新規先への積極的アプローチにより、今後改善見込み。
	独自技術開発に注力し、新たに特許権を２件取得する。	1件申請中。計画通り推移。今後も開発に注力。
	男女問わず平等な雇用と育成に努め、女性の管理職登用を積極的に行う	進捗無し。今後事業拡大に合わせ、優秀な人材は積極的に登用させていく方針。
	年間のCO2排出量を4.2%/年 削減するためにエコカーの導入及び省エネ運動を実施する	今年度分の排出量は算定中。社用車5台中、4台がハイブリッド車使用しており高い意識で取り組み出来ている。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
	売上高を年間10百万円ずつ増加させる	売上高510百万円（2022年度）⇒553百万円（2023年度）に増加。達成。人材育成が進み、従業員の能力が向上したことが主因。在宅診療、託児所事業も好調推移。
	毎年1名以上の新規採用を行う	新卒1名、中途4名採用。達成。

一般財団法人平林移動集団検診所	男女ともに育児休暇取得率100％および育児休暇復帰100％を維持する	対象者3名に対し、3名が育休取得。達成。
	2028年まで、毎年の給与ベースアップ5％増を実現させ続ける	5％以上のベースアップ実施。一部では業績給としても反映。達成。
	グループ全体の紙の使用量を2028年度までに2023年度対比20％削減する	ＳＥ3名在籍しており、順次システム化実施。心電図関連の感熱紙については90％を削減済み。達成。今後ともシステム化を進め、ペーパレス化を進めていく方針。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
㈱ティア	2034年までに葬儀会館を450店舗に拡大する（2023年９月時点：190店舗）（2034年までの年次出店計画は名古屋銀行とティアで共有のうえモニタリング）	211店舗（2025年6月末時点）
	2034年までに北海道、東北、中国、四国、九州エリアに葬儀会館を出店する（現在の出店エリア：中部・関東・関西）	2025年6月時点で中部・関東・関西エリアで展開。引き続き、出店エリア拡大方針
	2029年までに安置施設の収容能力を100件から220件へ拡大する	東名阪の直営会館における遺体安置受入体数合計197体（2025年6月末時点）
	エンバーミングの件数を2029年までに年間3,000件対応する（2023年９月期実績614件）	2,066件（2024年10月～2025年3月の6か月間）
	2032年までに従業員の平均勤続年数を10年以上に伸ばす（2023年９月時点7.5年）	7.3年（2024年9月期）
	2029年までに新卒入社社員の5年後定着率を5割に引き上げる（2023年９月期時点３割）	37.6％（2017年4月から2020年4月入社の新卒社員の5年後定着率の平均、2025年7月11日時点）
	５千円のベアを継続的に行う	実施済、引き続き継続的なベアを実施予定

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
東洋企業㈱	従業員数（パート含む）200名以上、内在宅ワーカー20名以上を達成する	従業員数：社員62名+パート約57名＝合計119名程。在宅ワーカーは17名。概ね計画通りに推移。在宅ワーカーも全国から募り、機能している状況。
	育児休暇取得率を100％にする	対象者となった男性従業員2名が、どちらも育児休暇を取得。達成。
	残業時間10時間以下、有給消化率90％以上を達成する	残業時間は平均10時間以下、有給消化率70％程度。残業時間の目標は達成。有給消化率は未達であるも、奨励日を設定する等引き続き有効施策を実施予定。
	社用車を全てEV車またはハイブリッド車へ切り替える	社用車6台中、4台がハイブリッド車。計画通り推移。買替時期に合わせて、順次切り替えていく方針。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
㈱華盛	2028年度までに売上高を１５億円まで拡大させる	2023年度は売上高12億程度にて着地。金属リサイクルも積極的に行うことで、受注幅を拡大。堅調に推移。海外（東南アジア）における受注も今後は積極的に獲得し、更なる事業拡大を見込む。
	ＩＳＯ９００１の維持	更新済み。達成。
	2028年度までに適切なＯＪＴとジョブローテーションにより多能工化を進め、専門職人材3名を総合職へ職種転換させる	コンサルティング会社主導により人事制度を整備。職種別のチェックリスト作成し、随時ジョブローテーションも実施予定。達成に向けて進捗中。
	毎朝のミーティングと定期勉強会の実施により、労働災害件数をゼロにする	ゼロを維持。達成。
	育児休暇取得率100％を維持する	今期対象者なし。評価対象外。男女ともに育児休暇取得の推奨は為されている。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
㈱mei-mei	当社サービスのニーズが高い地域に進出し、売上高200％増を達成する	現在、新施設建設中であるも、今期の売上高は堅調に増加している。訪問介護において、月間訪問件数20件増加。新施設完成により、更なる事業拡大を見込む。
	技術勉強会を１か月に１回実施し、従業員の知識・技術向上を図りサービス品質を向上させる	実施中。また、訪問看護担当者に訪問介護のＯＪＴを実施する等、勉強会以外にもサービス品質向上に繋がる施策を随時実施している。達成。
	有事の際にも適切なサービス提供が可能な企業となるためにＢＣＰ計画を策定する	策定済み。今後は形骸化した計画でなく。地域の連携も考慮した有効性の高い計画となるよう随時改善を図る。達成。
	月間の残業時間５時間以下を維持する	平均1時間以下を維持。達成。
	あいち女性輝きカンパニーを取得する	取得済。達成。次は健康優良法人認定の取得も視野。
	社用車の半分以上をエコカーに切替え、CO2排出量の削減に寄与する	社用車9台あり、エコカーは0台。未達成。軽自動車7台、一般乗用車2台あり、買替の時期に合わせて随時入替予定。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント

豊田電気㈱	既存顧客（住友ゴム・豊田市役所）を除く売上高年間2億円以上を2028年度までに達成する	2023年度3.6億円。自動車工場を中心に約300件。達成。
	2030年までに1級電気工事施工管理技士の社内人数を20人以上にする。（現時点：14人）	2024年5月時点で14人（1人増加も、1人退職により現状維持）。未達成
	2030年までにEcovadis（サプライチェーンの持続可能性評価）評点45点以上を達成し、維持する	住友ゴムからの指示である45点以上に対して、56点。尚、3年毎に再取得予定。達成
	2030年までに豊田市SDGs認証制度のシルバー等級以上を取得する	現状ブロンズ取得済（有効期限令和8年）。今年、再度シルバーの申請を予定。未達成
	2030年までにえるぼし認定（女性の活躍促進に関する優良企業認定）を取得する	2024年5月時点で申請の準備段階。えるぼし認定一つ星は取得できる見込み。未達成。
	2030年までに女性従業員割合を全体の20%以上にする（現時点：12%）	女性従業員6人から7人に増加したものの、総従業員数増加により割合は11.1%と横ばい。未達成
	2030年までに男性従業員の育児休暇取得率（現時点：0%）を100%にし維持する	対象者1人も、未取得。未達成
	2030年度までに従業員の残業時間を2021年度実績対比で10%削減する	2021年度平均173.92時間。2022年度平均194.67時間。2023年度平均202.91時間。未達成
	豊田スタジアムへのスポンサーを継続する	スポンサー継続。達成
	地域の教育機関と連携し、体験学習、インターンシップ、講演依頼に対応する	愛工大のキャリアデザインにて女性従業員が講演、地元工業高校などでインターンを実施。達成
	SBTに基づく温室効果ガス削減目標（2030年までに2018年対比46%削減）の達成と実績開示を維持する	2022年度の排出量101.4 t CO_2。2018年度比2.4%増加。未達成。
	ISO14001の取得更新の継続、温室効果ガスの削減計画と廃棄物管理を継続する	取得済。更新予定。達成。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
㈱春日商会	2028年度決算までに売上高80億円を達成する	2024年3月期41億円、2025年3月期は50億円弱を想定。未達成
	2028年度決算までに、2024年新設予定の木曽川インターの新規ヤードにおける売上高を10億円にする	2024年8月時点で外壁工事中。10月にはスタート予定、2025年3月期は4～5億円の売上予定。未達成
	自治体の資源ごみ収集について、年間100百万円の受注を維持する	2024年3月期は200百万円超。達成。
	従業員の有給取得日数10日以上を毎期実現する	2024年3月期、正規従業員の取得日数約15日。達成
	従業員全体に占める外国人の割合30%以上を毎期実現する	2024年3月期時点での外国人割合40%。達成

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
㈱ティエムエフ	2030年度決算まで、毎年端材を再利用した新商品の開発、販売を1商品以上継続する	秋ごろに展示会にて今回の新商品を展示予定。来年以降も継続予定。達成。
	ISO9001、JIS9001の更新を継続し、品質維持、向上に努める	取得維持。達成
	2025年度決算までに人事評価制度の再編を実施し、専門職の活用、成果・能力に合わせたインセンティブを織り込む	会長が在籍している間に人事制度を整えたい意向あるが、従業員の残業や能力評価に対する目線にばらつきがある為、少し時間を要しているとのこと。2025年度までの再編は目指しているものの、焦って従業員と経営層に溝が出来ることは絶対に避けたい。来年以降、計画の修正を要する可能性。未達成
	一宮女子野球、一宮地区のTボール大会、バスケットボール大会への協賛を継続する	継続して協賛中。地元の大会などについては、引き続き新しいものも検討中。達成
	廃棄物や施工不良の低減について従業員と共通の目標水準を設定し、毎年の目標水準を達成する。また、端材のリサイクルや商品開発利用を積極的に行う意識を醸成させる為、端材を活用した商品の開発者などに対して社内で表彰を行う	独自システムにて品番、不良品の量を測定。毎月フィードバックを実施。過去5年のトラックレコードから不良の減少を従業員に意識づけを実施。表彰はまだ制度化はされておらず。未達成
	温室効果ガスの排出量算定を毎年行い、排出量削減目標についてSBT認定の取得、またはSBT認定に準じたレベルの目標設定を2025年までに行い、排出量削減に取り組む	排出量算定は準備中。2025年までに目標設定、算定を予定。SBTの取得については現状社内協議中。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
	2028年度までに、顧客ごとの個別対応力をさらに高め、製品・サービス品質向上させることで、2023年度対比で売上高を150%増加させる	2023年度対比で売上高2.5%増にて推移中。計画通り推移。新工場も順調に稼働。ＰＰＭ分析により商品数を厳選するとともに、品質に見合った値上げも行いブランドの確立に努める。

船橋㈱	BCP対策の強化のため災害対策マニュアルを策定し実施する	名古屋商工会議所の支援にて、３回の勉強会を実施。今後は当勉強会をもとにしたマニュアルを策定予定。初回：工場見学、危険箇所の洗い出し、基本方針の策定。2回目：自社重要業務の洗い出し、対策本部・役割分担の編成。3回目：避難経路の確認、水害シュミレーション２．労働環境の整備、雇用の創出。計画通りの進捗。
	女性従業員比率50%を維持する	全従業員数32名中、男性12名、女性20名在籍。達成。
	希望者に対して育児休暇取得率100%を達成する	対象者下記2名。女性社員１名（2023年9月～現在）。男性社員１名（2023年7～9月）。達成。
	新卒・中途に関わらず、毎年1名以上を採用する	新規従業員2名採用（正社員0名、パート社員２名）。達成。
	アップサイクル製品等の環境配慮型製品の取扱量を150%増加させる	売上高は横ばいにて推移。新たに尾州地区のウール廃材をアップサイクルとして楽器ケースカバーを考案し販売する等、状況に合わせた製品展開を行っていく方針。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
㈱イナガキ	当社の技術力・対応力・効率性を向上させ、2023年度対比で従業員一人当たりの売上高を180%増加させる	2023年度売上高429百万円、従業員数32名。従業員一人当たり売上高13,418千円。今期を基準としてＫＰＩを設定。自社開発、商品設計段階からの受注を増やすとともに、原材料高騰に伴い販売価格転嫁を進めており、今後売上高増加予定。
	希望者に対して育児休暇取得率100%を達成する	対象者1名に対し、1名取得中。達成。時短勤務も許容しており、働きやすい環境整備を順次進めていく方針。
	新卒・中途さらに性別・年齢に関わらず、毎年1名以上の採用を実施する	中途にて4名採用。男性2名、女性2名。達成。若年層を増員させる目的あり、年齢層の偏りをなくしていく方針。
	労働災害件数ゼロを維持する	引き続きゼロを維持。達成。ハラスメント撲滅運動の浸透や、作業中における相互管理体制の徹底が寄与。
	クリーン電力の活用や輸配送の効率化等を通じて、ＣＯ２排出量を年間4.2%削減する	2022年度の排出量101.4（t-CO2）に対して190.9（t-CO2）と188.3%増加。基準年となる2021年度に対しては5.3%増加。未達成。電気料金高騰の影響により電力メニューを切り替えたことが主因。時期見て再取組予定。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
豊田プレス工業㈱	当社が販売する製造、加工する部品のうち、ハイブリッド、EV車のみに使用するの部品の割合を毎年5%ずつ増加させる	割合算定中。
	融資期間中に新しいプレス設備機械を導入しトン数のアップグレードと自動化を進め、技術力向上を図る	プレス設備機械導入済。自動化による効率化を達成。達成。
	健康経営優良法人認定を継続する	2023年度も申請、取得済。達成。
	任意がん検診の受診率を前年比で毎年向上させる	前年比の数値確認中。
	特定保健指導の実施率100%を維持する	2023年度実施率100%。達成。
	育児休暇取得率を男女ともに100%を維持する	現時点で対象者なし。2024年度は候補者1人。取得予定。達成見込み。
	従業員1人あたり年2回の業務改善策提出の制度を整備し、インセンティブを付与する	制度化はまだ実施出来ていない。未達成。
	売上100万円あたりのCO2排出量（スコープ1、2）を2021年度決算の数値と比較して2023年度に5%削減し、以降毎年5%ずつ削減する	2021年度決算以降の数値を順次算定実施。2023年度の算定を現在実施中。
	返品や納品前の不良について個数管理を徹底し、従業員の再発防止意識を醸成する	返品、不良の「みえる化」を進めている途中。月ごとの個数管理と共有のしくみを作成中。未達成。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント
特定非営利活動法人バウムカウンセリングルーム	2028年までに経営支援事業における取引先数100社を達成する	取引先数8社。経営に関する無料セミナーを月2～3回ほど開催し、事業を周知。概ね計画通りで推移。当社体制を整えつつ、徐々に拡大予定。
	各施設に合わせた災害マニュアルを作成し、実践的なＢＣＰ対策を行う	災害マニュアル作成。また、部門横断的な対策がとれるように、各部門の人員で構成する専門チームも結成。概ね達成。日々の気付きの中で、より具体的な対策を図る。
	高校・大学からの新卒採用数10名以上/年間を行う	2024年度　11名採用。勤続10年の従業員について、採用時9名中の内7名が残っており定着率も高い。達成。
	従業員の健康診断における再受診率100%を達成する	管理者が個別に通知することで、再受診の文化浸透。再受診率は概ね100%達成。今年度より産業医とも契約し、健康経営を進めている。概ね達成。
	年間1施設ずつＰＰＡによる太陽光発電設置を進める	業者と打合せ中。従業員も交えて検討。導入することによる費用・従業員負担も考慮し、時期を見て進めていく方針。

企業名	主要ＫＰＩ	進捗及び企業コメント

㈱WEトレーディングジャパン	2026年度までに従業員一人当たり売上高を2023年度対比10％増加させる	従業員数増員となるも売上高横ばいにて推移。広告宣伝強化によりPB商品販売注力し、KPI達成を目指していく方針。明確な方針を掲げ、他にも様々な施策実施中。
	2026年度までにＰＭＵ商品の売上高100百万円を達成する	現状、商品開発の最終段階。検査承認が下りた商品もあるが、まとめて取扱い開始予定。2024年度より販売開始予定。
	毎年3名以上の新規採用を行う	新規に5名採用。達成。
	船舶輸送回数を2023年度対比毎年5％ずつ低減させる	商品点数増加に伴い、輸送回数としては増加したものの、コンソリデーション活用による環境負荷軽減は実施している。輸送効率化を図るも、それ以上に商品点数増加し回数減少にまで至っていない。一方で、コンソリ積極活用による効率化には努めている。
	2026年度までに社用車の半分を電気自動車またはハイブリッドカーへ切り替える	社用車5台中、ハイブリッド車は2台。計画通り買替を進めていおり、2026年度までには目標達成見込み。